

WACATE ワカテ マガジン Magazine Vol.31

✿ご挨拶✿

WACATE-Magazine をご覧の皆様、こんにちは。
WACATE-Magazine 編集部です。

このたびは発行が遅くなり申し訳ございません
でした。

先月、6月25~26日は、WACATE 2011 夏で神奈川
県三浦は暑い時間を過ごすことが出来た方、受け
止めた物をぜひ持ち帰って使ってみてください。

関東地方は、梅雨が例年よりも12日以上早く明
けましたようですね。

東北地方太平洋沖地震の関係で電力需給に関す
る各社の対応によってお休みが変則的になっ
てしまっている方も多くいらっしゃると思いま
す。生活パターンの変化で大変と思いますが、体
調管理に気をつけ無理をせず、体を壊さないよう
お気をつけください。



朝顔 (The morning glory)

✿お品書き✿

【特集1】

「WACATE 2011 Summer Report!!」

【特集2】

「WACATE 前夜祭、後夜祭 Report」

【雑談スペシャル】

てすバナ語るっcha!

【リレーコラム】

ワカテに聞く

【リレーコラム】

Software Test Topics

【連載】

ミュージカルに恋して

【リレーコラム】

WACATE-Blog 出張所

【連載】

源太郎のソフトウェアテスト占い

【あとがき】

WACATE 2011 Summer

～誰がためにレポートはある～のレポート(序章)

■やってきました WACATE 2011 Summer!

うっひょーい!! やってきましたよ!!!

WACATE 2011 夏!

...で。

今回は満を辞してお送りする予定でしたが、期間の問題でレポートが間に合いませんでした。。orz.

詳細は来月号にてレポートさせていただきます!

※楽しみにしていた方、すみません! m(_ _)m

1ヶ月を超えた頃にまたレポートで体験していただければ幸いです。

少し写真でお楽しみくださいませ♪



一日目は天気にも恵まれ、とても良い景色でした♪

梅雨時期ということをおぼろげに忘れるくらいの天気と気温。正に「夏!」というカンジでした。

いやー。今回は二日目と情報処理試験が重なってしまい、どうなることかと実行委員たちはひやひやしていました。

しかしそれでも「満員御礼」という素晴らしい参加率。

アツいよ。アツすぎる!
WACATE 参加者アツすぎる!

今回の夏は「インシデントレポート」という基本的なテーマを扱いました。基本なだけに深いよ。深い!

「誰がためにレポートはある」と題して、ここ数年のテーマが入り乱れた内容でした。

- ・メトリクス
- ・レポート
- ・コミュニケーション

基本的なだけに数々の要素を考えなければならず、たくさんの議論が生まれました。

だが我々は、愛のためー♪(ちょっと違う)



暑い2日間を打ち上げよ！ WACATE2011 夏 後夜祭

■行ってきました後夜祭

恒例となった WACATE 有志による後夜祭、今回も全参加者のほぼ半分にあたる、24 人の方が後夜祭に参加されました。

■アクアリウム居酒屋



お店は横浜にある「個室居酒屋 アクアリウム個室ダイニング 蒼の風」、アクアリウムの魚達がとても涼しげで、夏にぴったりの雰囲気なお店でした。



■似た者同士の熱い話らい



みなさんエンジニアらしく、アセンブラや歴代 CPU の話しにテスト自動化、Git などの開発環境支援、ブラック企業の内情やそこから心機一転努力して憧れの人物のいる企業への転職ストーリーなど、熱くて濃い話とそれに平気ですついで行ける参加者達のレベルの高さに圧倒され続けました。

■宴会也大盛況

テーブルによってはワサビのたっぷり入ったタコ焼きロシアンルーレットや女性参加者によるケーキの「はい、あ〜ん」サービスなど、皆さん思う存分はっちゃけてました！

また「ソフトウェア開発における エンピリカルアプローチ」本を巡るジャンケン大会では、各テーブルから勝ち抜いた代表選手達による決勝戦が繰り広げられます。ついには「私、グウを出します」宣言など、涼しげなアクアリウムの景色が一変して揺らいで見えるほどの熱気に包まれ、高度な駆け引きが展開される心理戦となりました。そこまでして技術書が欲しいとは！



■感想

今回は有志による幹事が中々集まらず、果たして後夜祭を無事運営できるか心配だったのですが、歴代幹事による手厚いフォローのおかげで笑顔にあふれる後夜祭とすることが出来ました。また WACATE 参加者のほぼ半数が後夜祭にも参加する結果となり、一泊二日のワークショップを共に乗り越えた仲間なんだなーと、感慨深いものがありました。ワークショップ直後にこれだけ盛り上がるのが WACATE の素晴らしさではないでしょうか。



書いた人 おたべ（後夜祭幹事）

ぽじゃま★パーティー

てすバナ語るっcha

■「そういえば、投稿戦士以外に

WACATE ファンの発信方法ってないよね・・・」

「ないなら創ってしまえばいいじゃない！」

↑ということのでっ☆

チャットルームを開設することになりました～

WACATE-Magazine の新企画として、投稿戦士以外のカタチで読者など WACATE ファンが関われるイベントとかできないかなあ？・・・という案から、チャットで座談会(分科会出張所的なもの)を開催したらいいんじゃないかなあ・・・という話になりました。

だいたい月1回開催で、その都度テーマを決めてみんなで語り合おう！という企画です。チャットの内容は Magazine に掲載します！

ロルールは今のところ以下のとおりだよ！

其の巻：

チャットの内容は WACATE-Magazine に掲載される前提です。したがってログを保存させていただきます。もしオフレコの発言がありましたら、その際に明確にしてください！なお、全部オフレコっていうのは受け付けませんっ！！www

其の式：

テーマに沿った発言をしよう！（できるだけ・・・）
毎回テーマを決めます。そのテーマから大きく外れないようにご協力願います。
オーナーが沈黙し始めたらそれは脱線復旧のチャンスを狙っていると察しましょうwww

其の参：

悪口や誹謗中傷の類はダメよ！（冗談は、明らかにネタってわかるようにね♪）

其の肆：

対話とか論議を楽しみましょう。ROM だけ、ひたすら語り続ける、といった一方通行にならないように心がけましょう♪

次の開催日時(まあ夜です。パジャマパーティーですからw)、テーマ、申し込み方法はこのコーナーの最後に記載します。

オンラインという特性を生かして、各地のテスト大好きな仲間と繋がりたいと思います。皆様の参加をお待ちしております！！

今回のテーマは、「WACATE 2011 夏で、得たいこと」
開催直前の参加者の心理や、どのような意気込みで参加をしたいと考えるのか、熱い想いが飛び出てきます。

果たして皆さんはなぜ、WACATE に参加しようと思ったのか。

■第6回♪

本題突入時刻 [2011/06/18 22:09:38]

最初からルーム入りしているメンバー
yumiko さん、しんすくさん、きょんさん、rin2 さん、オウミさん
Magazine 編集部：うえだ、コヤマン、ばんばん
・・・ちなみに今回、WACATE 実行委員参加率が高かったです！参加される皆さんの意気込みはみんな聴きたいのですヨ♪

久しぶりのファシリテートでガンガンに飛ばします。

コヤマン：で、今回のテーマは「WACATE 2011 夏で得たいこと！」

しんすく(け)さん：「WACATE 2011 夏で得たいこと！」

うえだ：もう来週ですね？

コヤマン：なので、とりあえず1名ずつ、「コレ！」って言うことを語ってくれると嬉しいです^^

コヤマン：では一せっかくなので、今回初参加のきょんさん！何かあれば教えてくださいませ^^

まずは初参加のきょんさんから！

しんすく(け)さん：ハ°ヲ°ヲ°ヲ°チ！！

きょん：あざまっすw>しんすくさん

しんすく(け)さん：簡単な自己紹介入れてくれると嬉しいっす！
だって知らないから！

きょん：あ、自己紹介ですね。

きょん：kyon_mm で Twitter とかはてなゲイアリーとかやってます。

しんすく(け)さん：おおお！！みたことある！！

きょん：うさみみのアイコンなのですぐわかるかと。

きょん：お！ありがとうございますw

コヤマン：こないだ、ust 拜見しました^^

きょん：うおああああ>> ありがとうございますw

オウミ：うさみみのアイコン、見たことありますー。

きょん：ありがとうございます！>オウミさん

きょん：週に一度くらいでうさぎ組-ust-として UST を配信しています。内容はソフトウェア開発に関する事をざっくばらんに。

きょん：普段は Java ベースのプログラマーです。

きょん：開発環境とかテストとか興味があって、今回の WACATE に初参加することになりました！

Moeko さん 参戦！

きょん：WACATE2011 夏で得たいことは、インシデントレポートのオープン化について。です。

コヤマン：オープン化。

しんすく(け)さん：オープン化??

yumiko：オープン化？

しんすく(け)さん：クローズなの^-^??

きょん：JaSST の資料などを読んでいても、バグに関する知識体系や連携間が乏しいとよく感じるのでもそこらへんどうしたいとか考えてないのかなーと。

しんすく(け)さん：なるほど！！知識体系のオープン化ですね！！さしあたって IEEE829!?

きょん：ですです。

いきなり意識の高さを感じる意見が飛び出しました！

yumiko: どこに向かってオープンですか？

うえだ: そこ知りたいです

きょん: 身近なところで言うと、Sier 間とか。

しんすく(け)さん: 何を書いたらいいか？は IEEE829 に書いてあります。

しんすく(け)さん: どう書いたらいいか？は霧の中です

コヤマン: なんとなーく、細川さんのやってる欠陥 DB の話が近いのかも^^

しんすく(け)さん: あー！そっちか！あれおもしろい。

yumiko: おもしろい！

きょん: たしかにそれが近いと思います。

yumiko: 共有したい、と思ったきっかけは何ですか？

yumiko: 何を目的に？

きょん: 「インシデントレポートはコミュニケーションツールである」と言われているわりにコミュニケーション方法の確率がなされていない、未発達な分野だな。と思ったからですかね。

しんすく(け)さん: なるほど

rin2_: なるほど。

yumiko: なぜそこに興味をもったんですか？

yumiko: 未発達な分野で何かをやりたい、でしょうか。

オウミ: 共有する「方法」の確立を何とかしたい、という感じでしょうか？ それとも内容の共有でしょうか？

きょん: はい。内容になります。

きょん: ソフトウェアテスト技法を学び始めているうちに品質に興味わいて、自分の今までを振り返ったときに「わからないまま」でやりすぎてきたものとして一番強いものだからですかね。

yumiko: テストに一番かかわってきた、ってことですか？

きょん: いえ、プログラマーとしてですね。

yumiko: なるほどー。

しんすく(け)さん: だからといって低層に限らないところがこの世界の深いところですね。

オウミ: 低層＝プログラムの周辺、ですか？

しんすく(け)さん: テストレベル的な。

オウミ: あ、なるほど >しんすくさん

きょん: プログラマーって正直自分も含めてテスト技法とかよく知らない人ばかりなので、いろいろ興味のもつポイントがテストな人達と違っていて、そこらへんを勉強していてすごく楽しいです。

しんすく(け)さん: テストレポートと、品質を結びつける点ってどこかあたりします？>きょんさん

しんすく(け)さん: もとい、バグレポートと、品質

きょん: 最近やりはじめたのが、Jenkins で実行した総合テストの失敗を Redmine に自動的に登録するようにしているところです。

しんすく(け)さん: おおお おもしろい。バグレポートのレポート自体の自動化ですね。

コヤマン: おおー

yumiko: おー

rin2_: おもしろいですね。。。

yumiko: 見てみたいです

しんすく(け)さん: そのとき、どういう情報を Redmine に登録するのか。コールスタックや出力や、ロギングや。

しんすく(け)さん: おもしろー。

オウミ: 自動化の範囲が広いと、かなり便利そう。

しんすく(け)さん: レポートにも人力と自動化があるのか。おもしろい。

オウミ: 朝起きたら、テスト実行だけでなく不具合票もできあがってるかもしれないのか。

きょん: ですね。狙いは「頻繁に更新されているモジュール」と「失敗に関わっているモジュール」をうまく追跡すれば品質を考える一助になるんじゃないかと。

yumiko: 「失敗」

しんすく(け)さん: 自動で出来ればそういうデータとれそうですね。

オウミ: 「頻繁に更新されているモジュール」もメトリクスとってるんですね。

Moeko: **でも自動化だと嫌がられたりしません？私前いたところ、わざと自動化潰してたりしました・・・**

しんすく(け)さん: たしかに、CI ツール絡めればできる。

オウミ: そういうところもあるんですね >わざと

オウミ: あと、手動のテストもゼロではないと思うので、そのあたりのデータの統合はちょっと手間なイメージが^^;

きょん: Redmine のチケット登録がメンバーのプレッシャーにならないように「最終マージ」が終わったリソースにおける自動テストの中でも「総合テスト」のみ。に絞るようにして配慮したつもりです。さすがに単体テストの失敗程度でチケットつくられたらやる気なくしますのでw

しんすく(け)さん: **頻繁に更新されているファイル、と複雑度の相関とってみたら、見事に一致してました。**

Moeko: なるほどー

うえだ: たしかに、チケットだらけになると埋もれちゃいますからね

コヤマン: データを自動的に取ってくれるのはすごく魅力的

mayonezudaïou さん、編集部員 softest 参戦

コヤマン: はい。では結構脱線気味でしたが

コヤマン: **初参加のうさみきょんさんの WACATE で得たいこと、はインシデントレポートのオープン化について、参加者が考えていることなど、かな？**

きょん: はい！

コヤマン: 既に着手されている内容など、すごく有意義な考えでした。

しんすく(け)さん: 素敵です!!! LOVE!!!

コヤマン: 後から来られた方には、是非 Magazine で確認いただきたいww

コヤマン: **イケメンは思想もイケメンですね^^**

しんすく(け)さん: そういうことかー!!!

mayonezudaïou: おあすけですかw >Magazine で確認

コヤマン: そうですw >大王w

きょん: ちょw 誰がイケメンだとw

Moeko: (あ、うさみみっていうからバニーガールな女の方だと勝手に想像してたのですが違ったのかー

コヤマン: では、お次も WACATE 初参加の、ゆみこさんの意見をお聞きしたい！

次も初参加のゆみこさん！

yumiko: 初参加ですー！ちゃんと覚えていてくれてありがとうございますぞ

yumiko: 今回のテーマはインシデントレポートですが、少し脱線してしまうのかも。。

コヤマン: ゆみこさんの WACATE2011 夏で得たいこと！

yumiko: **みなさんがこれまでどんなことに取り組んできて、どんなことを感じてきたのかを知りたいです。**

しんすく(け)さん: また広いなそれは。

yumiko: そのひとつのテーマとして、インシデントレポートに関連することからまず知っていくのがいいのかもしれないな、と今思いました。

しんすく(け)さん: なるほど。

yumiko: 何から手をつけたらよいかかわからないもので。。段階的に、どのような取り組みをしていけばいいのか、どのようにインシデントレポートを育てていったのか、などなど。

しんすく(け)さん: 育て!?

yumiko: あとは、それをどうやって開発、つまり品質をつくり込む側にフィードバックしているのかを知りたいです。

yumiko: バグレポートの書く項目を増やしたとか、なぜ増やしたとか、増やした項目をどう使っているのか、とか。

しんすく(け)さん: なる。

yumiko: 今、商品開発部にいて、品質を上げる作戦考える担当なので、どのように開発に活かすのかが一番知りたいです。項目を決めたり、増やしたりすると、それだけ作業が増えるので、意味のある項目を増やさないといけないと思うのですが、どんな項目をどう使うために増やしたのか、でしょうか。まとめると。

yumiko: 今、やっと社内ですごい取り組みが始まったばかりなので、みなさんの知見をお伺いしたいです。新製品のひとつのモジュールとして BTS が入って、日々項目が増えたりしてます。もちろん、会議で議論して合意された項目が増えていっています。

コヤマン: f m

yumiko: あとは、項目の一つ一つがインシデントレポートに追加された経緯とか。いろいろありすぎてすみません。

ゆみこさんの賞欲さにつられて KEN さん参戦!

KEN: こんばんにゃ~~~~~!

しんすく(け)さん: (にゃー!! って。

softest: 僕(開発です)はインシデントレポートの項目で「これを追加してください」といったことないかも~。

yumiko: たしかに。

しんすく(け)さん: たしかに。開発側ってそういうのいってこないかも。

yumiko: テスト管理者として、増やしてください、の項目はありません。

しんすく(け)さん: てゆか、わからない、っていうのが多い感じ。

うえだ: たしかに、

yumiko: 将来分析したいからっていう項目とか。。

Moeko: え、そんなに書く項目あるんですか? 私はそれがよくわからない・・・

しんすく(け)さん: なにをどう分析していいかわからない、ので、その辺は QA の方々にお任せします、って感じです。それはそれで頼られてるので嬉しいですけど。

yumiko: そういう意味だと、開発メンバーは面倒くさいって思うので、目的やその項目の使い道をキチンと説明する必要があります。

しんすく(け)さん: まったく。そのとおり。

yumiko: あとは、今必要だと自分が思っている項目が、本当に必要なのかを知るためにも、みなさんの経験からのお話が聞きたいです。

しんすく(け)さん: バグレポートには大きく分けて、その現象をピンポイントで理解するための項目と、それが発生した背景を分析するための項目、の2種類があるです。

しんすく(け)さん: そういう意味では、解析結果 というフィールドは意外に後者に位置します。

yumiko: 予防するため、っていうのは入らないですか??

しんすく(け)さん: 入ります。後者を分析した結果がそれに使われます。

yumiko: 発生したモジュールとかも入りますか?

しんすく(け)さん: 入ります。

KEN: はい

yumiko: なるほど! じゃあ、それです。

しんすく(け)さん: **安直にはパレート分析に使いません。**

yumiko: ぱれーと?

しんすく(け)さん: テストや品質の用語ではないです。

KEN: パレート図

しんすく(け)さん: 一般的な原則で

うえだ: パレート図ですね。

しんすく(け)さん: 原因の8割は部品の2割に集中している、という経験則に基づくセオリーです。

しんすく(け)さん: その2割を炙り出すのがパレート図。

しんすく(け)さん: ソフトウェアテストの原則でいうと、バグの偏在。

KEN: **QCの7つ道具に入らなかったけ?**

しんすく(け)さん: たぶんはいってる

うえだ: 入ってますね

rin2_: あったはず。

yumiko: ありがとうございます。勉強不足だぁーorз...

しんすく(け)さん: どこに偏在しているかを炙り出す為には、モジュール っていう項目が必要。

mayonezudaïou:

<http://www.atmarkit.co.jp/aig/04biz/paretochart.html>

うえだ: でも、分類の仕方がキモになりますね

しんすく(け)さん: いえ

しんすく(け)さん: なので

KEN: そういや、回帰テストフェイズの戦略につかうな、パレート図

しんすく(け)さん: モジュールの水準を設定するときは、開発リダーにレビューしてもらいます。

しんすく(け)さん: おおおーそれかっこいい。

コヤマン: QC7つ道具使うときはまず、層別しないとね

yumiko: (今、分析の仕方がテーマなんですわね。)

yumiko: 回帰テストの戦略??

yumiko: それとっても気になります。派生開発?? 保守とか?

KEN: つづきプリーズ>コヤマン

コヤマン: パレート図とか、分析を行う前に、まずは何をどういう視点で分析するか、層別をすることが必要ですよ

コヤマン: とゆーつづきw

yumiko: (ちなみに、みなさん今、どのフェーズのインシデントレポートを想定されているんでしょうか??)

KEN: (回帰テストフェイズ) 一通りのテストが終わってからやるフェイズ。強化テストとか言うところもあるみたいだけど。派生でも保守でも新規でもいいんだけど

softest: 僕はシステムテスト以降かな。

オウミ: 新規でも、イテレーション開発ならイメージしやすい気が >回帰テストフェイズ、戦略

しんすく(け)さん: おなじく>システムテスト以降。

softest: 単体テストやそもそもコーディングでみつけたバグは、すぐ直してしまうから、レポートはない場合が多い?

Moeko: 私もシステムテスト以降かな? それ以前のインシデントレポート見たこと無いからですけど・・・

KEN: バグを多く検出したテストをパレート図で分析して、2割のところを少数の探索テストチームに担当させた。

yumiko: 最後の仕上げみたいな感じでしょうか?

しんすく(け)さん: しかし、CI ツールから報告されるエラーレポートを、インシデントレポートと捉えるかどうかで考え方が変わるかと思う。

しんすく(け)さん: あと、静的解析ツールの指摘。

yumiko: どこからが不具合として登録するのか、どう決めているのか、気になります。

softest: コードレビューの指摘事項とかもあるかな。

KEN: うちだと、設計と実装とテストがきちり分かれてるから単体でもレポートでますよ。>softest

mayonezudaou: フェーズもだけど初回客先リリース前のテストなのかりリース後のテストなので扱いが変わるかな?

しんすく(け)さん: インシデント、なので、それが最終的にバグである必然性はないわけですよ。

softest: 探索テストチーム!

yumiko: 社内では、タイミングが決まっているので、ぶれるのは興味があります。

きょん: CI で失敗したものというよりは、テストケースとして保証しているものが失敗したらバグという認識。

softest: うち、ほぼ 100%設計した組織が、実装するので、ないですね~>KEN さん

コヤマン: **softest さんと KEN さんの話を聞くと、やっぱりコミュニケーションツールなんだな~ってカンジですね**

softest: あとは、管理ツールでもあると思います>コヤマンさん
softest: 個人の>コヤマンさん

コヤマン: うんうん

KEN: 分かれてるといのは、時期というか工程。単体テストの実施者は実装 [設計] 者です。>softest

softest: そうでしたか>KEN さん

コヤマン: 結構組織のインシデントのライフサイクルって、会社によって機密事項だったりするので

コヤマン: 皆さん悪用しないよーにねw

yumiko: はい

KEN: へーそうなんだ。>コヤマン

コヤマン: 参考情報程度で

しんすく(け)さん: (機密にするほど独創的なライフサイクルみてみたい。。。)

mayonezudaou: 了解です。ただ機密扱いにする理由が知りたいな。。。)

KEN: 詳細設計書に [単体テストの] テストケースまで書いてあるので、それでバグが見つければレポートされ、設計書の修正もしくは要件の追加が入ります。

yumiko: そうでした!

yumiko: 今日は知りたいことをあげてもらって、何をやる飛んできましたっけ? あげてもらって終わりではないんだと思うんですが。。知りたいことを具体化する、とかそんな感じですか? ?

コヤマン: **ゆみこさんはとりあえず色々聞きたいけど、直近では BTS で採取するデータの話、かなあ**

yumiko: そうですね。それとその活用方法。目的がない項目はいらないので。>コヤマンさん

mayonezudaou: w k t k

KEN: 要求管理システムをきちり使っている PJ だと、インシデントは設計変更や要件の追加になるから単体でもレポートされるところが多いと思います。>softest

コヤマン: うんうん

コヤマン: では、お次は…発言が少ない rin2_さんに! w

コヤマン: って離席中だったりします? w

コヤマン: むうw

ばんばん: そうですね。そうしたら、話すと止まらない人は後回しにしてw(コラ)・・・あとは初参加のかたいらっしゃらないですね。

コヤマン: うんw

ばんばん: 夏初のもえちゃんはどうかな?

次は WACATE の夏・初参加のもえさん。

Moeko: はい えーとですね、私今までインシデントレポートに不満だったり疑問だったりを持ったことってないんですけど

Moeko: この間、2010WACATE 冬の復習会に参加した時に、世の中には BTS を使っていないところや、Excel でインシデントレポートを作っているところがあるってことを聞いてすごくびっくりして

コヤマン: f m f m

mayonezudaou: ごめんなさい>だれとなく

Moeko: で、今まで自分がいたところが世間一般的に普通だと思っていたのですが、どうやらそうでもないらしいということを知り

softest: え、僕も Excel も使います

Moeko: **一番知りたいのは、他の方々がどういうインシデントレポートを作っているのか、かな?**

コヤマン: それは、書き方といった表面的なことですか? 内容のことですか? ?

Moeko: 内容もですし、書き方もです

Moeko: JSTQB とか読んでも、なんかディベロッパの機嫌を損ねるなっばいことが書いてあるけど、そもそもそれもよくわからないし

コヤマン: もえちゃんは、いい組織にいたんだなあw

yumiko: 開発者の機嫌を損ねる理由がわからない、ですか? >もえさん

しんすく(け)さん: 軽そうで重いテーマに思えます。

Moeko: というか、どうやってエラーが出たかをレポートすると開発者が機嫌を損ねるわけがない、という気がするので、それを怒らせるのってどんなものなのかな~と

softest: バグ報告を寝かしたりとか?

コヤマン: お、ではココで開発者側の意見も聞きたいw

しんすく(け)さん: レポートする側と受ける側が対等の背景と技術力を持ってれば損ねるとかそういう次元にならないんです。

yumiko: それ、難しいですね。。。)

コヤマン: 階級みたいな意識があるとダメと言っている?

yumiko: 開発者と対等の技術をもったテスターが必要! ? ?

Moeko: 私の個人的な経験からすると、開発者のほうがインシデントレポートに対して不誠実な態度取ることのほうが多いかな~って気がします

しんすく(け)さん: 個人的にはそんなの当たり前で、普通、開発者より技術力は高いべきと思う。

yumiko: あ、技術力は別として、力関係で対等でないといけませんね。。位置。。)

yumiko: たしかに、開発者よりは抜きん出たものは必要だと思います。

きょん: **テスターが開発プロセスのどの位置にいるかで話が変わってくるんじゃないですかね?**

コヤマン: きょんさんの「位置による違い」についてもちょっと聞きたいな~

コヤマン: 近い、遠いで違います?

しんすく(け)さん: うん。位置ってどこだろう。

きょん: そうですね。特に最近気に入っているのは「実践アジャイルテスト」にあるように「ビジネスサイド、テスター、プログラマー」の3人で話すべきである。という観点ですね。

yumiko: 彼らが出せないものを検出できて初めて認められる、というか。。ビジネスサイド。

yumiko: たしかに。。

きよん: テスターがビジネス要件からフィーチャーの受け入れテストを作り出してプログラマーはそれを作る。そしてQAがテストする。テスターはコンダクターのような役割。というのがいいと思っています。

しんすく(け)さん: おお。素敵だ。

きよん: なので仕様決定時や開発時にプログラマーと全く関わっていない人にどうこう言われるとお互いにそれは気持ちよくないじゃないですかね？

しんすく(け)さん: なるほど。

コヤマン: f m f m

hiroiseさん 参戦!

Moeko: でも、仕様決定時にプログラマーに関われない場合って多くはないですか？テストオペレータが請負とか派遣とかの場合って、そもそも特定の社員以外とのコミュニケーションすら取れない場合って多いと思うんですけど・・・

きよん: そこでルールが必要なんじゃないですかね？何でもかんでも言うには仲がよくないといけないっていうか。

しんすく(け)さん: もえちゃんの組織でいうと、人間だからこそ上流に入ったほうがいいと思うのだけれど。

しんすく(け)さん: 下流で予め確定できていることなら、ツールに指摘させればいだけで。

Moeko: んーと私(派遣)は入ってたけど、請負の人は入ってなかったかなあ〜<上流>しんすく(け)さん

しんすく(け)さん: もったいねー。>もえちゃん

うえだ: ちなみに、今の現場、テストチームさんは詳細設計の後半から入ってきました。

きよん: うらやましいですね>うえださん

yumiko: **設計や仕様決定時から入れるのってすごいと思うんですが、そういうもんですか？**

softest: おお、すごい。テストチームの方々は詳細設計ドキュメントに対してどんな指摘をされます？>うえださん

mayonezudaïou: 現場によっていろいろ違うから何とも言えないけど、ある職場では各工程でのレビューにQA(実際テストする人)を入れないといけなとかあるけどね。

うえだ: 結局、詳細設計の内容だけじゃテストケースが作れないってことになりました。。

うえだ: そこで、テストチームのほうで、「こういう情報がほしい」というのを一覧で、作ってもらって、そこを開発側で埋めていくみたいなドキュメントを作る事になりました。

softest: いいですね〜、それ。>うえださん

しんすく(け)さん: なんていう理想的な

うえだ: 開発でも、テスト側でも共有で見れるドキュメント

きよん: ユビキタス言語のプレ版みたいなものですかね。

hiroise: そうですねー。テストとのコミュニケーションでも有効だと思います>ユビキタス言語

しんすく(け)さん: それを素早くやれるとWモデルの理想型かもですね。

softest: **僕は、設計書になんでもいいから「テスト方針」って章を追加して、っていいです。**

yumiko: 「テスト方針」って、なにをテストするのかってことですか？>softestさん

softest: はい、近いと思います>ゆみこさん

yumiko: なるほど。イメージと会ってました。

softest: 「何をテストして、何をあんまりテストしなくていいか」「なんでそこをテストするのか」とかです>テスト方針

yumiko: 「あんまり」。。

softest: 保守開発が多いので、どのソースコードを修正するかが見えなかったの、テスト方針とか、修正範囲を次の工程で(理想では)誰が見てもわかるように書いてほしいです。>ゆみこさん

yumiko: 何をもちいてOKとするか？がみえない設計書。。。？と思ったんですが、影響範囲の話、ですね？

yumiko: 影響範囲と、判定条件とは少し別なイメージ。。

softest: 「あんまり」は後工程の回帰テストでカバーしてるよね？みたいなことも思い出しながら、検討します>ゆみこさん

softest: 何をもちいてOKとするか？は、修正範囲について言及している章で書いてもらいます>ゆみこさん

コヤマン: **やっぱり、色々な組織で取り組み方に工夫があって面白いなー**

しんすく(け)さん: 直前のプロジェクトでは要求のチケットにテスト方針書いてもらってました。

しんすく(け)さん: どうしたら、この要件を満たしたことに鳴るのか？です。>方針 <補足

しんすく(け)さん: んで、どうテストしたらいいかわからない、をテストチームがオブザーブする感じ。

yumiko: どんな情報がなくて、テスト方針が見えなかったんでしょう？？

きよん: スクラムのフィーチャーと受け入れテストに似ている。。。Moeko: 私のいたとこだと、Product marketingがRequirement出して、テストチームがレビューして、開発がレビューして、でそのあとみんなでレビューして、って感じでした。で最終的に決まったことに対して開発と、テストプラント立てて、で作られたものをテスト〜

softest: 私のいたとこだと、Product marketingがRequirement出して、テストチームがレビューして、開発がレビューして、でそのあとみんなでレビューして、って感じでした。で最終的に決まったことに対して開発と、テストプラント立てて、で作られたものをテスト〜

きよん: すばらしいと思います。>もえさん

コヤマン: ふむふむ。ちょっと脱線しすぎたかなあw

yumiko: あ、たしかに脱線？

コヤマン: うん

コヤマン: **もえさんは、他の組織ではどんな状態なのか、自分の理解を深めたい、というカンジですね。**

softest: WACATEの真骨頂ですよ>コヤマンさん

コヤマン: うんうん

softest: 他の組織がどんな〜みたいなどころ

yumiko: 私も同じですー。

Moeko: そうですね、反面教師とするために、どういうインシデントレポートが駄目なのかが知りたい！って感じでしょうか

mayonezudaïou: ここいらで要点をまとめてもらえるとうれしいかも。もしくは話の流れを

WACATE 初参加→〇〇について気になる→その派生の話。。。 (今ここ)

コヤマン: それは…まとめのときかなw Magazineでw

というワケで会話の流れをある程度整理しておいたよ！大王！w

コヤマン: 時間も時間なので、あとの参加者としては rin2_さんとしんすけさんなんですー

しんすく(け)さん: rin2さんー？

mayonezudaïou: ずーっとチャットの画面を見て、チャットのやり取りを見ていても、頭の中で整理できていない自分w

コヤマン: 反応が無いのでしんすけさんに話っていただきますかw

とゆーワケで？w しんすけさんに。

しんすく(け)さん: えー

しんすく(け)さん: 俺ねー
コヤマン: あ、無いならいいよw
しんすく(け)さん: バグレポートは近いうちに無くなると思うです。
しんすく(け)さん: でもそれは
yumiko: ???
しんすく(け)さん: パンチカードをちゃんと読んでたのがコンパイルによってなくなったように、無くなってはいけないものを含んでいると思います。
コヤマン: うんうん
しんすく(け)さん: だから、**いまのうちにそのエッセンスをしっかり残したい。**
しんすく(け)さん: だから、**次のWACATEでは、そのエッセンスを集めたい。**
しんすく(け)さん: バグレポート、インシデントレポートがコミュニケーションの手段として用いられなくなると、本当に伝えなければならないものはなにか。それはツールの設計に残ると思う。
しんすく(け)さん: インシデントレポートが伝えなければならぬ最小の事項は何か？を探りにいきます。
しんすく(け)さん: 以上です。

Moeko: (そういえばどの会社もツール開発部門とかあるんですかね？それも気になります)
しんすく(け)さん: うちのBTS自社開発です。(正しくはカスタマイズ)
yumiko: うちも自社開発ですー。
softest: 作ったり、買ったりですね。
コヤマン: うん。うちもw
しんすく(け)さん: ベースはMantisなのですが、跡形も無いです。
Moeko: (なるほどー)
softest: 静的解析やセキュリティ関連は作れない。。
きょん: 個人的にチームで使っている(あ
yumiko: 同じ社内でも全然違うもの使ってるんですか？
yumiko: それ、もったいないような。。
うえだ: Redmine, TestLink, Mantisですね。
hiroise: うちの開発入り乱れてるので、TracとかRedmineとかですわー
コヤマン: ウチはやったら製品が多かったりして、かなり厄介な状態w
mayonezudaïou: みんなすごいな。。
きょん: Redmine, Jenkins, Mercurial, TestLinkかな。。
yumiko: チームごとに違うもの使うってことは、プロジェクトごととか、チームごとで使ったら、その後、不具合情報は闇に葬られる、ということですか。。??
コヤマン: そこまでひどくはないけどw
しんすく(け)さん: そう、その接続非常に重要。
オウミ: チームやプロジェクトでしか共有しない場合はありますわ。
yumiko: はい。ですよね。。
Moeko: 同じものつかってても、プロジェクトごとにアクセス制限かかっている場合とかもありますよねえ。。。非常に不便
きょん: プロジェクト内で閉じている事はよくありますわ
yumiko: 共有するのはどこか1箇所でもとめるかもしれませんが、けっこう不具合情報は使い捨てがおおそうですね。。
しんすく(け)さん: そこをさー。QAの超ボスみたいなやつが横断的に分析してすばーつと。

オウミ: ただ、不具合情報ってドメイン知識もかなりはいりませんか？

オウミ: そこを抽象化して共有して使いやすくとすると、かなりのスキルと時間が必要そう。
コヤマン: 入る入るw
yumiko: はいります！かなり。。
しんすく(け)さん: **そのスキルをカタチにできるとすげーですね。**
softest: 「スキルをカタチに」
Moeko: え、ドメイン知識がない人がそもそもテストするんですか？
mayonezudaïou: > [23:53:32] オウミ: そこを抽象化して共有して使いやすくとすると
これはすごく気になりますし、したいですね。
しんすく(け)さん: BTSの分析を請け負うコンサルティングファームなんか、アリっぽいですね。
yumiko: あると思います。>コンサルティングファーム
きょん: それってタグ付けてメタ情報のデータベースとドメイン情報のデータベースをつくれればいいって話とは違うわけですか？
hiroise: きょんさん、それはありだと思います
コヤマン: 僕もアリだと思いますー
しんすく(け)さん: メソッドとしてはそういう方向だと思います。実際やると死ぬほど大変だと思う>きょんさん
オウミ: いえいえ。極端に言うと、複数のプロジェクトのバグを見るときに、関連するプロジェクトのドメイン全部知ってる人が必要になる？といった話です >ドメイン知識がない人がそもそもテスト
オウミ: (私はそんな意味で書きました)
Moeko: あ、なるほど~
yumiko: うちがテストだと私ひとりの頭の中にならねていてです。。
オウミ: おお！それはすごいわ！>私ひとり
hiroise: ではゆみこさんを引き上げば。。。
オウミ: www >引き上げば
yumiko: はい。なので、商品知識と不具合情報の積み重ねから、抜けられません。
yumiko: 今、私ひとりが知っていることを、みんなで共有するために、データベースをつくらうとしています。
yumiko: ドメイン知識ないと、エンプラはシナリオテストでアウトですわー。
しんすく(け)さん: シナリオ作れないからね！
コヤマン: ですかw
コヤマン: まあ、そこに色々カスタマイズをすると、現在の状況になると思うんだけどw
オウミ: www >現在の状況
yumiko: 何をテストするの？がみえなくなるので。。はい。そのとおりです。
オウミ: それで解決できるどころも結構ありそうですね^^ より「使える」範囲を広げるなら抽象化必要なーと思いますが。>それってタグ付けてメタ情報のデータベースとドメイン情報のデータベースをつくれればいいって話とは違うわけですか？
しんすく(け)さん: その抽象化にスキルがいるって話だね。
yumiko: はい。
yumiko: 全体を見渡せることも必要です。
しんすく(け)さん: どんなスキルだ^-^;
オウミ: はい。それも、複数の。 >スキル

やはりBTSの話題も尽きません。

うえだ: 不具合情報の共有ができるといいですね
しんすく(け)さん: それ、ファール>うえださん
うえだ: たしかに
mayonezudaïou: 不具合情報のオープン化はいいと思います

うえだ: 最新のRedmineは対応してますね、親子関係
しんすく(け)さん: ツール側では用意してるんだけど、使う側が
まだ追いついてない感じがします。

コヤマン: f m

コヤマン: rin2_さんが言っている「使い方」というのは、「分析
する立場」から、という話だったように思うんですけど

コヤマン: ちょっと方向性が変わっている気が

yumiko: 親子関係が必要になるときって、どんなときなんでしょ
うか??

しんすく(け)さん: 登録されたインシデントが複数の原因をはら
むばあい、または複数の要件にまたがるインシデントの場合>ゆ
みちゃん

きょん: 必要になる。というよりは、1チケットの粒度をたもち
やすくなる。という狙いが大きいです。>ゆみさん

yumiko: 親子関係を維持する必要はありますか??

しんすく(け)さん: うん。子が全て解決して、改めて親を確認す
る。

yumiko: そうですね。他に何かあるかなあー、と思ひまして。。あ
りがとうございます。

しんすく(け)さん: 粒度、という意見はそのとおりと思ひます。

きょん: BTSの分析っていう意味だと、あまり項目数を増やさな
いことが重要そうですね。個人的に項目数が多いと使う気にな
れないし、レコメンドとかあると尚高い感じ。

yumiko: 粒度、1件の不具合票をどうカウントするかと関係して
きそう。

コヤマン: あるいは、項目数が多くても分析するとき項目を絞
る、ですね

しんすく(け)さん: 1つのインシデントをどういう粒度にするか、
は報告者のセンスに任されているのが現状と思ひます。

コヤマン: んー

yumiko: ルールがないと分析で困りませんか???

コヤマン: 組織のルールによるかなw

しんすく(け)さん: 一件一葉の原則を踏まえた上で、テストアイ
テムの理解度によって粒度をどう捉えるか、から変わってくるよ
うに思ひます。

Moeko: 項目数が多ければ多い人みんな適当にマス埋めしてい
きそうな感じ・・・必須項目は入れないと登録すら出来ないから入
れるけど、Optionalなのは入れなくなっちゃうそう

rin2_: たしかに<Optional

しんすく(け)さん: そのデザインけっこうセンスいるです

コヤマン: うんうん

yumiko: Optionalは必須でないからオプションなんではないか
と。。。難しいですね。

yumiko: 本当に必要なら必須に。。

きょん: 入力項目も条件付き必須。のようなプログラミングでい
う型のイメージでもっと楽にカスタマイズできるようになるとい
いのもかもしれませんね。

コヤマン: ですねー

yumiko: そうですねー

コヤマン: ツール次第か、ツールのその部分を作るか、ですね

コヤマン: やはり「項目の選定の設計(工夫)」みたいなものも重
要ですね

コヤマン: そういった意味では、rin2_さんとゆみこさんの「得た
いもの」は似てるのかなー

ばんばん: とりあえず参加者の皆さんにはひととおり伺えたよう
ですね

コヤマン: うん

BTSの項目の話もたくさん飛び出していきます。皆問題を抱えてい
ますね。そしてその中、KENさんが環境の問題で出たり入ったり
...

KEN: みなさん、こんばんわ。ネットワーク難民です。

コヤマン: ww

きょん: wwwww

ばんばん: 得たいものが、演習を通じて得られるのか、はたまた
分科会やお部屋でアツク語って得られるのかw

ばんばん: 後日、得たいものが得られたか伺ってみたいですね^
^

コヤマン: ですね^^

ばんばん: **みなさん、やはりインシデントレポートに関する何か
を得たいのですね。(当たり前?w)**

mayonezudaïou: WACATE2011 夏振り返り会(チャット版)ですか?

オウミ: そういえば、テーマと直結したもののばかりでしたね >
やはり

オウミ: みなさん空気読んだのかしら。。。www

Moeko: テーマ以外で得たいものと言えればテストに関わっている
皆さんとお話したい!なんでも良い!って感じかなー(笑

Moeko: 話せば話すだけ得られるものってありますし。

コヤマン: うんうん^^

きょん: 聞きたい事が他にもあったのですが、このチャットの流
れのなかでほしい出し尽くした感。

コヤマン: おお

ばんばん: **あ、きょんさんは、うさみみ見たいですw是非♪**

コヤマン: ww

ばんばん: **(それが得たいものwww)**

きょん: では来週持っていくますwww

コヤマン: ちょっとwwwwwwばんwwwwwwちゃんwwwwww
w

ばんばん: 私の真面目な得たいものは、Magazineに載せるようか
なあw

ばんばん: あとは、ポジベも見てね♪

mayonezudaïou: 網タイツもねw>きょんさん

きょん: ネコミミもあるんで誰か別の人に(お

きょん: 網タイツはちがうでしょwww

コヤマン: ばんちゃんはネコミミだしなあw

コヤマン: となると、やっぱりそこはオウミさんかなー

mayonezudaïou: うさみみには網タイツ!きょんさんが無理なら
☆がいるし!>網タイツ

Moeko: コヤマンさんもかわいーと思うんですけど<ネコ耳

mayonezudaïou: 想像した人>orz

オウミ: こはぜひ、コヤマンさんに! >うさみみ、ネコミミ

コヤマン: はいはいwネタにしかならんけどねw

オウミ: (前回、似あってましたけどねえ...脱線しそうなので、
語るのはやめておきますw)

Moeko: 海パンにネコ耳ってすごいですねえ

rin2_: え?カイパンにネコミミ?

コヤマン: wwwwwwwwwwwwwwwwwwwww

コヤマン: やんね-wwwwwwwwwwwwwww

きょん: 海パン!?

mayonezudaïou: 海パンがネコミミ?

コヤマン: だから僕が脱いでも汚いだけだからやりませんってば
w

オウミ: www MoekoさんGJです!

mayonezudaïou: 脱ぐ違うし。穿くだし

コヤマン: コラコラコラ、そろそろ時間なんだから海パンノイズ
を入れないwww

そして最後に、セッション担当の実行委員の“得たいもの”

コヤマン: では最後にー

コヤマン: 今回のメインセッション担当の、3人にちょっと聞きたいなー「得たいもの」

ばんばん: ☆の愛かしら♪

コヤマン: あとはきょんさんのうさみみ、か…

ばんばん: **実際はあるのだけど、うん、言うとな、演習内容に関わってきちゃうところがあるからね。**

コヤマン: なるほど

ばんばん: あ、あった、「実行委員」!!!!!!

コヤマン: ん??

ばんばん: 募集中で一すwww

コヤマン: 募集中で一すwww

コヤマン: 実行委員を得たいのねwwwwwwそれは欲しいwwwwwwww

ばんばん: そりゃそうでしょ!!

うえだ: なるほど!!

rin2_: wwwwww

コヤマン: hiroiseさんはー?

コヤマン: 何か言いかけてたのは見逃しません!

mayonezudaïou: w

hiroise: あ、ばんさんの発言のでかさ、消してしまいましたw

コヤマン: ワンモア!w

hiroise: じゃあ、**ほくもバグレポートの知見を深めたいです**

hiroise: **課題に対して、色々な立場・職種・経験を持つ人たちが**
どういう答えを出してくるのか、興味大、な感じです

コヤマン: うんうん

コヤマン: 皆さんの議論のすえ生まれたものがどうなるか、ですからねー

コヤマン: 僕も楽しみ^^

Moeko: 私は足をひっぱらないように頑張らないとー

Moeko: <議論

mayonezudaïou: Magazineに大いに期待してます!>WACATEでの議論内容

ちかみんさん 参戦!いつもぎりぎりに参戦する方いますねえw
でもこの後朝まで続きますからね^^;

コヤマン: ほぼめ状態ですが、ちかみんさんを追加ですw

mayonezudaïou: こんばんは>ちかみんさん

うえだ: こんばんわ?

rin2_: こんばんわですー

Moeko: こんばんは~

ばんばん: おひさです^^ちかみんどの

きょん: こんばんはですー

ちかみん: 各方面、お久しぶりです

ちかみん: コヤマンさん召喚多謝

コヤマン: いえいえ、では早速w

コヤマン: 参加表明している**ちかみんさんの「WACATE 2011 夏で得たいもの！」**

mayonezudaïou: w k t k

ちかみん: **知識と経験 (建前)、情報 (本音)、絆 (ネタ)**

mayonezudaïou: k w s k

オウミ: 絆はネタなんですかw

オウミ: 情報と並列なんですねw

ちかみん: 情報は、バグ票なんちゃらかんちゃ PJTもあるし、まさにタイムリーでして。

ちかみん: ところで、大王さまの記号なんでしょ (^ ^);

コヤマン: ワクテカとクワシク?w

KEN: kwsk 詳しく

KEN: wktk ワクワクテカテカ

mayonezudaïou: ありがとうございます>KENさん

Moeko: **そういえばバグ表と障害表って同じものを指してるんで**
しょうか?それとも違うもの?

Moeko: すみませんくだらないこと聞いて…

KEN: 同じだと思います

KEN: トラブルシート

コヤマン: いえ、**名称はいろいろありますが、だいたい同じようなものをさしてます**>もえさん

Moeko: ありがとうございます~>KENさん、コヤマンさん

KEN: バグチケット、不具合票とか

コヤマン: まあ、名称自体が混乱してるんですよー。英語のところもあるしw

Moeko: 同じものだろうなどは思ったのですが、たまに同じだと思
い込んでいたものが違うものだったりすることがあるので聞いて
みました (笑

ばんばん: 確認するのは良いことだと思いますよ^^

コヤマン: うん。JSTQB でいう「インシデントレポート」です。

組織で呼び方は違う、程度の認識でよいと思います

KEN: 開発メンバーが初めて同志の時に、プロジェクトで”バグ×
×”って名前が使われ始めると身構える。

KEN: BTSに登録できるのが”バグ”だけと認識されるときがあるから。

softest: **インシデント=バグじゃないところが、引っかかるかも?**

コヤマン: うんうん

KEN: そうそう。>softest

softest: うちの、エスカレーションともいうかも。

Moeko: テストケース不備なんかも登録しますもんね。

Enhancementも

KEN: えっ!登録?>moeko

Moeko: え、登録じゃない?じゃあファイル?

KEN: 登録したバグ表のステータスがテストケース不備になることはあるけど。。

Moeko: **一応レビューを受けたテストケースなので、そのテストケ
ースと実際の動きが違ったら、結果がテストケース不備だっ
てわかっているけどその上でファイルします**>KENさん

KEN: ああ、いいかもしれないですねそれ。>moeko

KEN: ちなみに、テストケースの不備の種類はどう定義しています?

KEN: 期待結果、手順、前提条件、テスト環境とか。あ、テストケ
ースの内容になるか。

KEN: 仕様との不適合もあるな、Versionの違いとか。

Moeko: うーん、テストケース不備はそれぞれの項目で、そこから
細分化は BTSの上ではしたことがないです。ミーティングの時に
どうしてそれが出たのかは話し合いますけど…

KEN: どの不備が多いかでテスト設計工程の改善ができる気がし
てきた。

うえだ: テストケースの不備にテストデータの不備も含まれます?

KEN: はいりますね。

徐々に脱線してしまうので、強引に流れを戻します。

コヤマン: f m

コヤマン: ちかみんさんの「知識と経験」って

コヤマン: **「経験」は、「インシデントの?」「ワークショップ
の?」**

ちかみん: もちろん、ワークショップ、WACATEのWですから!>コヤ
マンさん

コヤマン: なるほどー>ちかみさん
コヤマン: なかなか、やらないですもんね^^ワークショップ
mayonezudaïou: WACATE の W の前に (WakuWaku) を付けてほしい
ぐらいおもしろいからね~>WACATE のワークショップ
ちかみん: 貴重な場ですよ。WACATE
コヤマン: 仕事以外での実践の場はやはり貴重ですよね^^
mayonezudaïou: なぜプログラムにバグが出たのか?も気になる
けど、なぜテストケースにバグ(不備)がでたのか?も気になる
な~
Moeko: わくわく WACATE ってなんか可愛いですね。略したら
WWWACATE?
コヤマン: ww
ちかみん: そそ、自分の現在の獲得(評価対象ドメイン) 意外を
学ぶ場ってあまりないですよ。
softest: ベンチマーキングですね
うえだ: たしかに

コヤマン: おっと
コヤマン: さてさて そろそろお時間がお時間なので一旦ココ
らでお開きにしますかねー。3h 超えw
コヤマン: Magazine のてすバナに載せるのは、ココまででお開き
^^というワケで、みなさんお疲れ様でした!
mayonezudaïou: とりあえずうさみみやネコミみや海パンネタは
削除ですか?>コヤマンさん
コヤマン: いや、削除しないと思いますよw
ちかみん: 取りまとめ、お疲れ様でございました
KEN: おつかれさまでした
mayonezudaïou: おつかれさまでした
Moeko: お疲れ様でした~

KEN: 楽しいねこれ。ちゃんと回線がつながってたら。
mayonezudaïou: みなさん WACATE2011 夏を楽しんでください
い!!!
ばんばん: ありがとうございます。
rin2_: おつかれさまでしたー
ばんばん: おわー、あと1週間、がんばるー
コヤマン: あと1週間ですねー

ここまでで[1:18:46]

まゑこのあといろいろ BTS に関する裏事情とかもろもろ話したり
して・・・w
最終クローズ[4:06:13] なんかないもこんな感じですよ^^ ;
・・・良い子はちゃんと早く寝ようねwww

今回のチャット参加者のほとんどは WACATE 2011 夏に参加
をしたのですが、果たして各自の得たいものは得られたの
か?
それとも得られなかったのか?
思ったよりも得られなかったのか?

それは次回のチャットで確認することとしましょう!

一か月程度が経過した後、参加者はどう考えるのか。
持ち帰って実践して成功した/失敗した
持ち帰って勉強会をした、など、たくさんのフィードバッ
クがあることを楽しみにしています。

次の話題は一体どうなるかわかりませんが、きっと盛り上
がること間違いナシ!
WACATE に来た事が無くても、どんどんチャットに参加いた
だければと思います!

■参加方法と次回予告だよ

□チャットに関する要件は以下の通りです♪

- ・Skype のチャット機能を利用します(ボイス通信は使いま
せん!)
- ・グループに参加していただきますので、コンタクトリス
トにない人が含まれるチャットに参加できるように設定し
てください
- ・チャットに表示される名前を、Magazine に掲載してよい
ハンドルネームに設定してください

次回開催は・・・

8/5(金) 21:00~ chat 開始!

20:55 にはパジャマに着替えて skype 前集合♪
テストのお話しましょう♪

■参加申し込みは以下の方法で!

=====

WACATE-Magazine 編集部のチャット窓口
(magazine-chat@wacate.jp) に
「てすバナ参加希望」という件名で
以下の情報を添えてメールしてください。

- ・名前
- ・Skype 名(アカウント名もしくは登録アドレス)
- ・チャットで話りたいこと

=====

皆さんのお申し込みをお待ちしております☆

さあ、レッツインジョイ!レッツトーク!

今回のチャットルームオーナー: コヤマン

ワカテにきく※

第30回

『テスト部隊創設から1年後』
都築 将夫(マサオ君) さん (TEF 東海)

こん**は、WACATE2010 夏で同じグループだった石井さんからバトンを頂きました、TEF 東海では何故かアイドル&マサオ君と呼ばれることが多くなった、都築です。お疲れさまです。私は、生産設備機器の開発部署で入社以来、テスト担当で細く長く任務遂行しています。本稿では弊部署のテスト部隊創設後の運営について、取り組んでいることを述べます。

テスト部隊創設直後

テスト部隊創設以前ですが、自部署ではソフトウェア品質について問題が表面化し、テスト技術の強化が課題になっていました。そこで、一貫してテスト業務を行っていた私にスポットライトが当たり、(課長やいくつかの開発グループリーダーの支援の下)テスト部隊を運営することになりました。グダグダな私がテスト部隊を運営できるか不安でしたが、「ベストを尽くしてやろまい(※名古屋辺りの方言で、やろうぜの意味)!!」と覚悟完了しました。

さて、どうするか…

開発部署内では、テストについてはノウハウがあまりなかったため、私がこれまで実施してきたテストについて、ふりかえってみました。が、KKD(勤/経験/度胸)でテストを実施してきたため、あまり参考になりませんでした。

そこで、私が初めて購入したテスト本である「[ソフトウェアテスト 293 の鉄則](#)」を思い出し、読みながら「私ができることは何か?」と自問自答して、作戦を考えていました。

作戦行動指針として、以下の鉄則を軸としました。

- (1). 鉄則 002 常に目的を意識せよ
- (2). 鉄則 003 テストは幅広い顧客へのサービス業だと心得よ
- (3). 鉄則 021 技術的、創造的、批判的、実践的な思考が優れたテストのカギ
- (4). 鉄則 027 テストとは探求することだ
- (5). 鉄則 059 障害レポートの価値を高めるための、手間暇を惜しむな
- (6). 鉄則 092 ときには障害を実演してみせる
- (7). 鉄則 153 自らの誠実さと能力を示さずに技術的信頼関係など築けない
- (8). 鉄則 212 部下の障害レポートに目を通せ
- (9). 鉄則 226 スタッフの士気こそ貴重な財産

「優しさ3割増し」を念頭に、 まずはお手本

テスト部隊の隊員は、様々な開発畑を歩んだ協力会社社員の方々ですが、テストに関しては慣れていない状態でした。そこで、私から協力会社社員の方々に小



著者近影

さな Tips を出しながら、小さなところから褒めつつ、一緒に細く長くテスト業務に取り組みました。また、私のテスト業務タイムスケジュールを始業時間より0.5~1.5時間早めに出勤して、協力会社社員の方々が円滑にテスト業務できるよう、「優しさ3割増し」を念頭に諸々の手配をしました。

テスト部隊隊員のハートを掴め

所属会社や年齢をあまり意識せず、テスト部隊隊員を立派なエンジニアとしてフラットに接するように心がけています。また、テスト部隊隊員と趣味ネタと関西のノリでざっくばらんに話すようにしています。

朝会

テスト業務は、長期戦になることが多いことから、テスト部隊隊員の歩調が乱れるのを防ぐため、メリハリをつけるよう、歯止めをかける必要があります。そのため、テスト実行フェーズに突入したら、出勤日の午前8時30分~午前9時は朝会を実施し、当日やることの確認、テスト機材の調整、BTSに登録されているバグ票の情報展開を行います。

細く長く取り組んで1年以上経過

1年が経ち、テスト部隊隊員が自律的に考え、行動する場面が多くなりました。現在、とある製品の潜在バグをあぶり出すため、テスト部隊隊員1名と私の2名で、任務を遂行中です。ゲリラ戦になりつつありますが、「スマートにテスト業務を行って、太陽が出ているうちに帰ろまい(※帰ろうぜの意味)!!」という信念を持ち続け、地面が揺れたり放射線が飛来したり津波が襲来しても、現状を打破できるように日々努力を重ねようと思います。

ご静聴ありがとうございました!!

Software Test Topics

こんにちわ♪

上田ですっ

あっつい日が続いてますね～

そんな中、先日、あっついイベント「WACATE 2011 夏」が開催されましたね。

開催されるまでは、「まだ一週間先かぁ～」とか思っていたのですが、実際に始まってしまうとあっという間に終わっちゃいますね。

参加された皆様方いかがだったでしょうか？

さてさて、そんな感じで今月もお役立ち情報を皆様にお届けっ♪♪♪

【書籍】ソフトウェア・テスト PRESS 総集編、発売予定！

全てが、1つに。

<http://gihyo.jp/book/2011/978-4-7741-4733-8>

出版社：技術評論社；B5版／80ページ／CD1枚

ISBN-10：4774147338

ISBN-13：978-4774147338

発売日：2011年7月15日

定価：2,594円（本体2,470円）

ソフトウェアテスト PRESS の総集編が発売されます。この特別総集編ですが、なんと、Vol.1 から Vol.10 までの内容を PDF 化したものを収録した CD-ROM 付きとなっています！！すごい～

ソフトウェアテスト PRESS の Vol.1 が発売されたのが、2005年6月25日なので、そこからもう6年も経っているんですね～。

（ちなみに、上田が直交表を初めて知ったのが、このソフトウェアテスト PRESS Vol.1 でした）

是非、お手元において置きたい一冊ですね。

【イベント】ソフトウェア品質シンポジウム 2011、参加募集開始！

日本で最大級のソフトウェア品質のシンポジウム。

<http://www.juse.or.jp/>

日程：2011年9月7日（水）～9日（金）

会場：早稲田大学・西早稲田キャンパス（東京・新宿区）

SQIP シンポジウムの参加募集が開始されました！

「基調講演」「特別講演」「併設チュートリアル」「企画セッション」「クロージングパネル」どれをとっても、見逃せないものばかりです。

がんばって予定をあけて参加したいですね！！

参加費についてですが、いくつか種類がありますので、下記にまとめてみました。

・併設チュートリアル（半日集中講座）【9月7日】5,250円

・併設チュートリアル（半日集中講座）【9月7日】＋基調講演セット【9月8日】8,400円

・本会議【9月8日～9日】

一般：39,990円※早期申込み割引（7月22日までにお申込みの方：37,800円）

日科技連賛助会員：37,800円※早期申込み割引（7月22日までにお申込みの方：35,700円）

・団体申込（3名様から適用）：34,650円/1人（※早期適用外）

・発表者：5,250円

・共著者：18,900円

・学生：5,250円

【イベント】JaSST' 11 Shikoku

JaSST を、四国から。

<http://jasst.jp/archives/jasst11t.html>

日時：2011年7月19日（火）13時～18時

場所：〒760-8521 香川県高松市幸町1番1号、香川大学研究交流棟5階（香川大学教育学部キャンパス内）

参加申込締切り：2011年7月12日（火）

参加費：2,100円（税込）

情報交換会：4,000円程度

講演は、NTT データの町田欣史氏による「現場ですぐに使えるソフトウェアツール」

そして、ワークショップとして、富士ゼロックスの秋山浩一氏による「実践！同値分割と境界値分析とドメイン分析」です。

【イベント】JaSST' 11 Kansai

JaSST を、関西から。

<http://www.jasst.jp/archives/jasst11w.html>

日時：2011年7月22日（金）10時～17時40分（情報交換会は18時～19時30分）

場所：クリエイターズプラザ（大阪府 東大阪市）

参加申込締切り：2011年7月18日（月）

参加費：シンポジウムのみ参加：5,250円（昼食代込み）、

シンポジウム＋チュートリアル参加（7,350円）

情報交流会参加費：3,000円

基調講演は、オムロンソーシャルソリューションズの幡山五郎氏による「止まらない・間違えない・防げない自動改札機の開発」です。

このコーナーでは、書籍やイベントの情報を募集しています。

例えば、「来月勉強会とか OFF 会とか開催するんだけど掲載してくれない？」といったものでも OK です。

開催地も、日本全国津々浦々、どこでもかまいません。

情報をお待ちしております m(_ _)m

池田暁の

ミュージカルに恋して。

[第三十幕] 風邪にお気をつけて---

♪ WACATE2011 夏 お疲れさまでした!

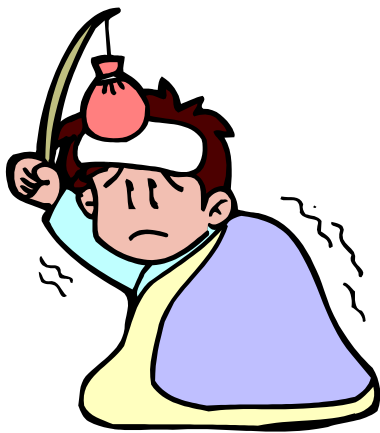
皆さんがこの記事を読まれている頃は WACATE2011 夏 が終了し、ほっと一息つかれていることでしょう。WACATE-SNS や Twitter を見ますと大変に充実した二日間になったようで、きっと各自が何かを持ち帰ることができたのではないかと思います。

この二日間は思う以上に体力と精神力を使います。へとへとになった方はまずはしっかり休養して回復してくださいね。

* * *

♪ 風邪を引きました…

休養といえど、久しぶりに酷い風邪を引いてしまい二週間ほど休養していました。正確にはまだ病み上がりでかなりセーブしているので、休養中です。



SS2011 長崎から帰ってきた次の月曜日、お昼ごろからどことなく身体が火照って、また筋肉痛を感じていました。SS2011 で走りまわったり観光したりしたからかなーと思っていたらそうではなかったようで、次の日に体調が急変。起きた時点で「こりゃ熱があるかも」と思ったのですが、会社を休むわけにはいかず気合で入社…しようと思ったらどんどん体調が悪くなってきました。

会社についてとりあえず熱をはかってみたら 39.5° C!!! 流石にこりゃやばいということで最低限のお仕事をこなして早退→病院です。診断してもらった結果、結構ひどくリンパ線が晴れているということで強めのお薬をもらい、二週間ほどはほとんど会社には入社できず静養することになりました。

本当に二週間熱が下がらない状態でしたので、結構しんどかったです。なにせ辛い辛いと愚痴が出てしまうくらいでしたからね。本当に死ぬかと思いました。冗談抜きで。(^-^);

* * *

こんな調子ですので、行きたかった演目を観に行くこともできず、結局6月は一度も観劇しない月になってしまいました。身体が資本といいますが、本当にそうですね。いやはや、日頃から気をつけておくこと、重要です。Twitter 等を見ていると、**どうやら風邪が流行っているようですので、皆様もご自愛くださいね。症状が出たと思ったら軽くても早めに病院に行って対処するようにしましょう。**

* * *

♪ 英語の勉強にミュージカルを生かす

こここのころ移動時はずっとミュージカルのサントラを聴いています。主に海外盤なのですが、これは意図を持ってやっています。

私はめちゃくちゃ英語と英会話が苦手です。ただ最近そうも言われてられなくなってきたので、少しでも勉強をしなきゃという気になっています。そこで、まずは無理ないところからということで、まずは英語を聴く時間を増やすところから始めています。教材に比べて流し聴きしても気にならないし、むしろ楽しいですから。(^-^)

しばらくしたら、海外演目の日本公演を見に行ってみようかなと考えています。あまり海外からのツアーなどは観に行ったことがないので、ひょっとすると自分のヒアリング脳力を測るのにはもってこいなのかなと。

目標は海外に観劇に行き、普通に楽しんで返ってこられることです。がんばらなきゃなー。好きなことをできるだけ、勉強にも生かしていきたいと思っています。

* * *

♪ 終わりに

7月は三銃士! キャストのあまりの濃さに期待感が膨らみまくります。3回くらいは観に行きたいなーと考え中です。〈終〉

WACATE-Blog 出張所

■WACATE2011 夏 ありがとうございます☆

東日本大震災から3ヶ月半。停電になるかもしれない、試験と重なってしまったから参加者が来ないかもしれない・・・などと、いろいろ心配しながらも、準備を進めていました。

しかし、いざ申し込みを開始してみたら、今までになく女性の積極的な参加に始まり、満員御礼で開催することとなり、当日も停電が起こることもなく、楽しくアツく濃い2日間となりました。参加して下さいなみなさま、お忙しい中時間を割いて私達を楽しませ、素晴らしい講演をしてくださった森崎先生、細川さん、突然の講評依頼も快く受けてくださった辰巳さん、いつも温かく見守って下さる清水さん、参加者に積極的に声をかけていただき1日目を一緒に盛り上げてくださった野中先生、いつも陰ながら支えてくださる多くの先輩方、言葉では伝えられないほどの感謝を届けたく思います。



■ふりかえりは大事なのです☆

さて、2日間が終わったらそれではおしまい！ではありません。。。実行委員にはまだまだ残タスクがあるので。皆様への御礼、会計処理、備品のおかたづけ、レポート作成など・・・

そして、準備期間からのふりかえりを行います。予めみんなでKPTを出し合っ、オフで解決策を考えていきます。

実行委員会は13時から始まったのですが、実際ふりかえりが本格的に始まったのは15時・・・じ、実はっ；

プロジェクトが無い・・・(爆)

プロジェクト忘れないようにね〜とリマインダメールまで受けておきながら、もの見事にプロジェクトを忘れたバカモノがおりまして・・・

WACATE 的お約束な事態に陥りましたwww

まあね途中で思いだしてよかったよ。でも炎天下の中合計40分ほど歩く羽目になったよ(涙)

今回の会場、日中は、いかにも会議室っ！という会場で、なんかエライ人になった気分w



そして夜の部。

13時から21時まで、がっつり振り返りました！ここでふりかえった内容をもとに、次のWACATEでは、もっとうまくやろう、もっといいものをつくりあげよう、と、様々な挑戦をしていきます。この繰り返りで実行委員は加速しているのです。



■次のWACATEに向けての近況

現在の次のWACATEに向けての活動は以下です。

◆実行委員会ネタ

- ・課題について検討していこう
- ・これからのWACATEについて考えていこう
- ・各セッションをナマで観れなかった実行委員のためにビデオ観賞会しよう！
- ・WACATE2011 冬の準備もはじめなきゃね〜

◆WACATE ネタ

- ・ManiaX Vol.5 発刊しますよ♪

…とこんなカンジです！

ねえねえ、みんな、一緒に加速しようよ☆

書いた人：ぼんぼん

開運

源太郎のソフトウェアテスト占い

※「ソフトウェアテスト占い」とは…
日本の伝統的な暦で知られる気学(九気性)をもとに、日本古来の統計学とソフトウェアテストで培った時代の統計学を組み合わせ考察された占いである！(笑)

	生まれ年	7月の運勢(7月7日~8月7日)
一白水星	S38/S47/S56/H2	本月の運勢は安定しており、信じる道を臆する事無く進め、願望も叶うであろう。ただし 年盤の五黄殺・月盤の暗剣殺 を受けているので、急激な行動は危険を伴うので 注意すべし！ 金銭上でも縁が深い大きな金額には 注意すべし！！
二黒土星	S37/S46/S55/H1	本命星と相剋であるために、 運勢は低迷し諸事滞りがちな であろう。ただし 年盤上では本命星・同会星とも相性なので諦めることなかれ。 何事も 慎重に事に当たり、独善的な行動は慎むこと が吉なり。 継続は力なりと心得よ。
三碧木星	S36/S45/S54/S63	本月の運勢は 困難や苦難の入り交じる暗雲の月 になるであろう。三碧の特徴である 「雷」が出る と人を傷つるので 注意すべし。 自分の領分をわきまえるが 肝要なり。 外部との交渉は一時留め時機の到来を待ち始めるのが 得策と心得よ！
四緑木星	S35/S44/S53/S62	本命星と相性となるために一転し 躍動の好機 が訪れるであろう。 好機を逃さずこれまでの成果を問う時機 と知るべし。思い切った行動も必要な時もあるであろう。 功を急がず！ 身勝手な独走は禁物なり！
五黄土星	S34/S43/S52/S61	運勢は平穏となり、 平素の行いが認められ各方面から信用 を受け月となる。ただし従来の 強情さを抑えることに注意すべし。 常に 笑顔 を心がけ相手の心を和らげるが 肝要なり！ 思わぬ失言から相手を憤慨させぬよう注意すべし。
六白金星	S33/S42/S51/S60	本命星と相剋であるために 運勢は衰運気味 となるであろう。ただし良宮に会しているため 物事の変動が起こりやすく成果は望みにくい時期 であろう。 今は事を始めず、機会の到来を待つのが良策と心得よ。
七赤金星	S32/S41/S50/S59	本月の運勢は、前途がわからぬほどの 暗雲に覆われた月 となるであろう。決して 軽はずみな行動をとらず慎重に物事に対処 することが 肝要なり。 協業は注意すべし。 他人を当てにせず 自分の出来ることから取り掛かる事 が吉なり。
八白土星	S31/S40/S49/S58	本命星と相剋であるため、 衰運となり諸事に影響 が出るであろう。 諸事成果への到達は難しく途中で後退を余儀なくされると心得よ。 強引なやり方では周囲から 恨まれるので注意すべし。 時には流れに身を任せてみるのも一手と考えよ。
九紫火星	S30/S39/S48/S57	本月の 運勢は頗る不安定 となり 事故などを招きやすくなる ので注意すべし。反面身辺での 喜び事も兆しが見え希望も持てる。 あまり大望を抱かず平常心を持ち焦るべからず。 第三者の意見も参考に し一歩ずつ 着実に進めること が吉なり。

月盤四緑木星				年盤七赤金星			
南				南			
	2	7	9		6	2	4
東 暗剣殺	1	3	5	西 五黄殺	5	7	9
	6	8	4	東 五黄殺	1	3	8
	北				北		
				西 暗剣殺			

◆今月のチェックポイント！

今月は「三碧木星」が中宮となり、【雷】の卦象の影響により「若さ」がでる月です。
今年「七赤金星」中宮のため、「柔和」「愛嬌」という面を強く出ますので「優柔不断」「安請合い」とならないように、軽はずみな言動・挙動には注意すべし！！
さらに「三碧木星」の特徴の一つである「スピード」が**運勢を強くするが発する時機は考慮すべし。**
今月は、「準備は早く」されど「発する(公開・報告)前に一呼吸(深呼吸)」と心得よ！

★今月のラッキーテストアイテム

三碧は「雷」「振動」の特徴がある星です。震えて進むということでは、**バグ成長曲線**などが思い浮かびます。皆さん、**バグ件数**はどのように管理・活用していますか？
バグ成長曲線について**改めて管理・活用方法**に考えてみましょう！

お知らせ

7月31日(日)にWACATE-Magazine vol.32 発行します!(たぶん)

次回こそ「WACATE 2011 夏!レポート!」をお送りします。

来たれ! 投稿戦士!

WACATE-Magazine では“ソフトウェアテストや品質に関する記事”を常に募集中です。
来たれ! 投・稿・戦・士!!!

WACATE-Magazine はボランティアベースで発行されています。したがって原稿料は出ません。※ノーギャラです。
投稿いただいた原稿の掲載可否、掲載時期については編集部で決定させていただきます。
特定の商用ツールやサポートなど営利色が強い原稿は原則として掲載いたしません。
レイアウトなどは全て編集部で行います。また、特に戻り確認などを行いません。
単なる論文は掲載しません。紙面の雰囲気を読んだ、イイ感じな文体や内容でお願いします。
公序良俗に反すると思われるものについても掲載しません。

以上を了解した上で、**覚悟完了!**な方はWACATE-Magazine 編集部「magazine@wacate.jp」まで、是非ご連絡ください。
折り返し、担当より要綱をご連絡いたします。
楽しい、そして役に立つ紙面にするため、是非ご協力いただければ幸いです♪

☆その他、WACATE-Magazine では以下の情報をお待ちしています☆

- ◎書籍情報(オススメ書籍情報も可)
 - ◎イベント情報(ソフトウェア/品質/テスト関連)
 - ◎勉強会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
 - ◎オフ会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連)
 - ◎デザート情報(甘いものならなんでも。イカス!やつで。)
- などなど、お待ちしております♪



★★★ WACATE 実行委員募集中 ★★★

編集後記

いけどん★節電頑張ろう!でも熱中症には気をつけて!!!
よえだ★WACATE 2011 夏、ありがとうございました!!
コヤマ★WACATE 2011 夏のレポート、落としました一題 サセ@@;
ぼんぼん★WACATE で得たものは是非現場で活かしてねっ☆
あらかみ★暑いですがねえ~! 節電の夏ですね! 水分補給を忘れずに!
お身体ご自愛ください♪
まぎた★お暑うございますね 体調管理にお気をつけください

★あくづけ★
2011/07/17(sun)はっこ
WACATE-Magazine へんしゅぶ
✉Magazine@wacate.jp
<http://wacate.jp/Magazine/>